

令和元年度自主研究グループ

MTS (もっと楽しく仕事)  
グループⅡ

# 昨年度の活動から

- ・ 主査職以下の約400人を対象にアンケートを実施  
(職場の雰囲気、人間関係、業務量、やりがいなど・・・)

## 結果

職場の雰囲気や人間関係は概ね良好だった一方、  
「仕事にやりがいを感じているか。」の質問には

→ 感じている : 6割

感じていない : 4割

外的要因

担当業務量の見直し  
賃金の上昇

内的要因

**目標がない**  
**そもそも期待していない**

# 今年度のテーマ

**「若手職員の  
やりがい・モチベーションの向上」**



**やりがいにつながる**

**きっかけづくりに!!!**

# 勉強会の開催

## 講師

- ① 市民部長
- ② 人事課長補佐
- ③ 副市長

ゲスト 市長

- ・ 自身の体験談
- ・ 仕事への熱い思い
- ・ 仕事への取り組みかた

参加者：78名(講師含む)

自主研究G『MTS(もっと楽しく仕事)グループII』勉強会

### 勉強会のテーマ

## 「先輩職員の間では聞けない話を聞こう！」

私たちは「これから市民の方を纏う若手職員のやりがい・モチベーションの向上」を目指し、やりがいを  
感じている人にはより種類のモチベーション向上を、感じていない人にはやりがいを見つけるきっかけと  
なる活動に取り組んでいます。

今回、先輩職員から貴重な話を聞ける勉強会を開催します。講師自身の経験談や、仕事に対する熱い  
思い、取り組み方を聞いて、参加者の皆さまの仕事へのモチベーション向上の一助となればと思います  
ので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

### 講師

副市長  
市民部長  
人事課長補佐

### ゲスト

中村 健 市長

### 日時

10月23日(水) 17:30~受付  
17:45~勉強会開始  
19:40 終了  
19:50 懇親会(自由参加)

※勉強会後に、市長・講師を交え福ふくで懇親会を予定しています。  
業務時間中では聞けないことなどを聞くチャンスです。また、中堅・若  
手職員の交流も兼ねていますのでぜひご参加ください。

### 会場

市役所2階 22AB会議室 (予定)

### 対象

今回は主事または主査職の方を対象とします。

こんな方に  
おすすめ!

- ▶モチベーションは高いが、その使いかたが分からない方
- ▶仕事への取り組み方が分からない方
- ▶仕事へのモチベーションの上がらない方 など

### お申し込み

企画政策課 三浦一志 宛にメールにてお申込みください。

▶kz-miura@city.nishio.lg.jp ▶申し込み締切:9月13日(金)

MTSグループIIメンバー(令和元年度・自主研究グループ)

松浦 真幸 (総務課)	鈴木 悠一 (企画政策課)	近藤 彰彦 (都市計画課)
杉浦 健彦 (危機管理課)	鈴木 悠一 (企画政策課)	三浦 一志 (企画政策課)
小林 直文 (学校教育課)	浅田 敏史 (財政課)	山本 浩士 (保育課)
車川 友隆 (長寿課)	上代 佳孝 (農林水産課)	浅岡 優 (文化振興課)



# 市民部長

楽しくなければ  
仕事じゃない



# 人事課長補佐

与えられた場所で  
仕事を頑張る



# 副市長

人事異動について  
財政について  
副市長を引き受けた理由



# 市長

自分がやれることを  
全力でやりきる



(前説)

主査

あいさつで  
仕事を楽しく



# まとめ①

アンケート回答有：62人(回答率87%)

- 勉強会参加前のあなたは、やりがいを感じていましたか。

感じていた(やや感じていた) 38人

感じていなかった(あまり感じていなかった) 24人



- 仕事に対するモチベーションは上がりましたか。

すごく上がった(まあまあ上がった) 55人

どちらとも言えない 5人

あまり上がらなかった 2人



## まとめ②

- 仕事に対する取組み方や考え方の参考になりましたか。

参考になった 61人

どちらとも言えない 0人

あまり参考にならなかった 1人

成果

★勉強会に参加したことで・・・

◎ モチベーションが上がった 89%

◎ 取組み・考え方の参考になった 98%

## まとめ③

- その他自由意見から . . .
  - 「仕事の楽しさ」とは何か、再考察し、仲間と共有したい
  - 今の仕事をとりあえず全力でやる
  - このような会を定期的に関くことでやる気につながる

★前向きな意見多数

⇒やりがいにつながる

きっかけづくりに成果あり！！



最後に・・・

**MTSグループⅢ 2020もやります**

**たくさんの方の職員の参加をお待ちしています**



西尾市の現状と  
地方創生

RKG研究会

# 西尾市のために何かしたい

- 今の西尾市はどんなことをやってるの？
- 財政状況は厳しいって聞くけど何がどう厳しいの？
- そもそも予算や事業ってどう決まる？

だからこんなことしました！

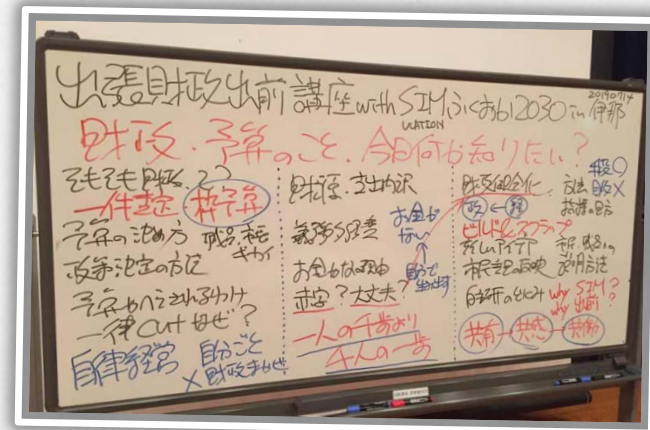
## 6月5日 第1回勉強会

企画政策課と財政課の職員から、  
市の現状と取組み、財政状況に  
ついて、話を聞きました。



# 7月14日 財政出前講座 (SIM2030) に体験

福岡市の職員「今村 寛」さん  
による出前講座に参加し、自治体  
の財政の成り立ち、予算や政策  
決定の過程を体験できる  
SIM2030に参加し、勉強会の  
理解を深めました。



# 自治体も経営する時代に

稼ぐ力と選ばれる力を身につける必要がある



# ふるさと納税

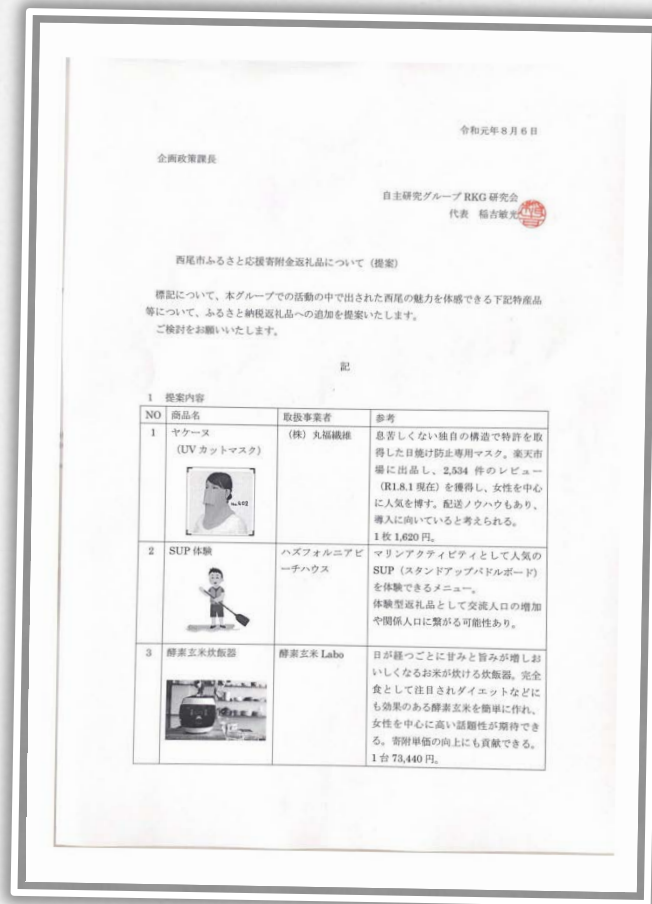


# 8月6日 企画政策課に返礼品 3品を提案

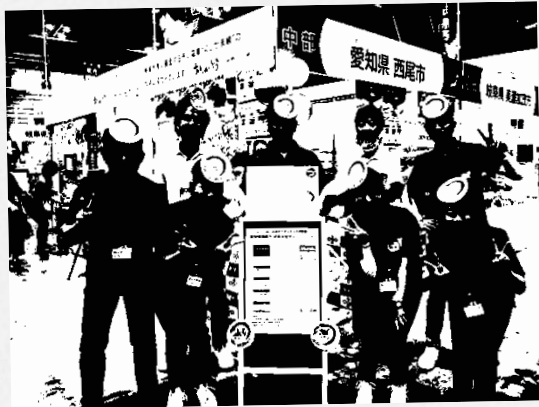
①酵素玄米炊飯器

②日焼け防止マスク「ヤケーヌ」

③SUP体験



# 11月15日~17日 ふるさと納税 PRイベントに参加



パシフィコ横浜で開催された  
ふるさとチョイス大感謝祭に参加  
し、提案した返礼品3品のチラシ  
2,000枚の配布を行うとともに、  
うなぎの串焼き、グリーンティ、  
チーズケーキの試飲試食を提供し、  
市の魅力をPRした。

RKQグループ(若手職員)推奨  
にしおの厳選3品

NO.1 「特別」が「日常」に  
本来に小豆と蜜を入れて蒸しあげたお餅を、  
厚揚げと小豆を入れた蒸しあげたお餅を、  
「特別」を日常にしたい。お餅を日常で、  
お餅があつてを食べて、お餅を日常に  
したい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に

NO.2 ヤケ又離れて焼げずにSUP  
香ばしいお餅を、お餅を日常にしたい。お餅を日常に  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に

NO.3 無人島へ小旅行  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に

※RKQグループとは  
今の西尾市にとって、自分たちができることは何かを考え、  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に  
お餅を日常にしたい。お餅を日常にしたい。お餅を日常に

寄附金額 240,000円 お餅	寄附金額 10,000円 ヤケ又	寄附金額 10,000円 SUP体験
------------------------	------------------------	--------------------------





**ふるさとチョイス大感謝祭 in パシフィコ横浜  
11月15日(金)～17日(日)**



# 活動の成果

- 提案した返礼品3品で集まった寄附金額  
約614万円(募集期間10月から12月)
- 所属や職域を超えて市のために力になることができる
- まちづくりを自分事として捉えるきっかけに

# 高齢者のための リハ栄養研究会

職員自主研究グループ研究成果報告  
西尾市民病院 診療技術部  
リハビリテーション室





# 研究テーマ

- 認知症患者やフレイル・サルコペニア患者の食事や栄養に関する知識を深める



# 認知症

- 脳が障害を受けることによって、一旦正常に発達した思考能力・知能が低下した状態。進行性。
- 異食・過食・拒食
- 誤嚥しやすい
- ケアが難しい



# フレイル

- 加齢により、心身の活力が徐々に低下した状態





# サルコペニア

- 加齢による筋肉量の減少、筋力の低下、身体能力の低下した状態
- 全身の筋肉量が少なくなったり筋力が弱くなったりして日常生活に制限が出る状態



# 研究のねらい(目的)

- 認知症やフレイル・サルコペニア患者に対する栄養摂取方法を学ぶ
- 加齢や病気に伴う全身状態の変化について理解を深める
- 地域、在宅へ退院する際の適切な栄養摂取方法について多職種で理解し実践する
- 高齢者の生活を食事や栄養、リハビリ面から考え、支援する







みなとオアシス



演者

えんげ  
クラブ



# 地域の現状を知る

- 介護・高栄養食品がドラッグストア等で簡単に購入できる
- 高齢者配食サービス
- 通信販売





# まとめ①



- 多職種が交代で講師を行うことで、多方面から知識を深めることができた。
- 学会発表や外部研修で得た知識を持ち帰り共有することで、各自の知識の底上げにつながった。

## まとめ②



- 当院でも、認知症・フレイル・サルコペニア患者は近年増加傾向である。
- 病気にともなう全身状態の変化について、最新・最善の知識と技術を駆使して高齢者の食支援をしていきたい。



# 西尾のMATCHA研究会

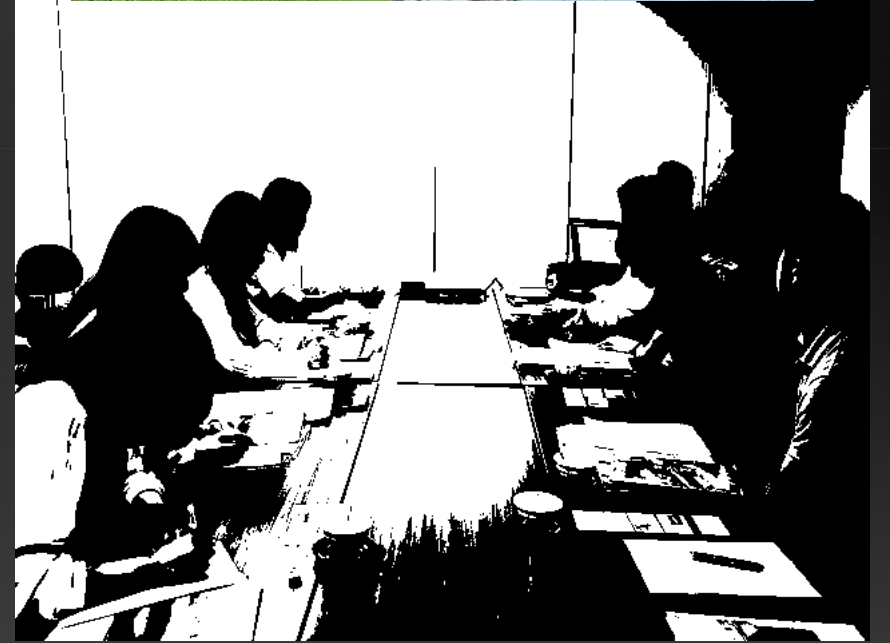
# 目的

西尾の抹茶の知名度向上



観光客の増加

# 前回の活動



# 今回の目的

新しく力を入れ始めている

参考に出来る手法があるかもしれない





# 島田市

- ・市としては緑茶推し
- ・抹茶に注力し始めたお茶屋さんもある
- ・まだまだ少ないので市が行う事業でも抹茶を取り入れることが難しい
- ・地元お茶屋の若頭達が集まり、Matcha Organic Japanという会社を設立





# サングラムグリーン ティー&ガーデンカフェ



- ・深蒸し茶が市民レベルで浸透し、観光客と同様地元の方からも深蒸し茶が人気
- ・店で西尾産の抹茶を使用している
- ・イベントに出店したり、店の中庭でマルシェ開催

# 知名度向上するには

西尾の抹茶の良さはわかる人にはわかる

市民レベルで西尾の抹茶と  
いうブランド意識持つ

そういった市民からの情報発信が  
一番の影響力



# ブランド意識を持つためには

幼い頃から慣れ親しむ

給食メ  
ニュー

教育

経験・体験

経験・体験の仕掛け  
抹茶

×

OUTDOOR





# まとめ

教育の場に抹茶  
を取り入れる

抹茶×アウトドア  
の普及

- ・西尾の抹茶という**ブランド意識**を市民レベルで広める
- ・市民から情報発信してPRしてもらう